

現代アーティスト

KEN IKEDA PROFILE

KEN IKEDAは、絵画、立体作品、空間インスタレーション、映像、デザインを横断する現代アーティスト。

3歳より、画家である叔母の影響を受け絵を描き始める。日本独自の美意識や精神性を根底に、ヨーロッパ美術、1960～90年代の音楽・ファッション、ニューヨークのアートカルチャーから影響を受け、独自の作品世界を構築。

15歳でニューヨークのストリートカルチャーに衝撃を受ける。美術館やギャラリーの中だけで完結する芸術ではなく、都市、音楽、ファッション、ストリートから生まれる表現に深く影響を受けた。

その後、ニューヨーク、ポートランド、ハワイなどを訪れ、作品を制作。そこで得た空気感や文化体験は、現在の表現にも深く接続している。

2003年にAIR PLANTを創業。

2021年に株式会社 AIR PLANTを設立。

デザイン、空間演出、ブランディング、プロデュースなど多様な領域で活動を展開しながら、一貫して創作を続ける。

ニューヨークを拠点に活動するグラミー賞トランペット奏者・大野俊三の来日公演では、ビジュアルディレクションを担当。国内外のアート、音楽、空間表現を横断しながら活動の幅を広げる。

2020年以降は、国内にて多くの展示会の企画・プロデュースを手がける。日本の伝統文化と現代アートを接続する『ICBA JAPAN PROJECT』を立ち上げ、アート、空間、文化発信を横断する活動へ展開。

2025年にはTabioとのコラボレーション。

2026年にはThe Rolling Stones × KEN IKEDA at TOKYO TOWER『OUTPLAY IT! / NAMINIMO MAKEZU / 波ニモマケズ』を発表。

日本独自の美意識とロックカルチャーを接続する表現へと発展させた。

活動の根底にある問いは、「人間とは何か」。

その表現には、時間の不可逆性への強い関心がある。人生、時代、出会い、感情、記憶は、一度通過すると二度と同じ形では戻らない。

物質としての作品に留まらず、その時代、その瞬間にしか置けない概念を重視する。

代表作『波ニモマケズ / NAMINIMO MAKEZU』では、人生や時代の変化を“波”として捉える。抗うのではなく、受け入れ、乗り越えながら前へ進む人間の在り方を表現。

作品に描かれる達磨は、「七転び八起き」の精神と、変化の中を生きる人間そのものを象徴する。

2025年、Bedrock Space Founder / CEOのKai Sugihara、前参議院議員であり元JAXA職員の水野素子とともに、JAXA種子島宇宙センターおよび種子島宇宙芸術祭を視察。人間・自然・社会・宇宙を、一つの連続した生命活動として捉える視点を深める。

同年、独自のアート概念『IRONOMI』を提唱。

『ironomi』は、「Colors of Inner Motion」をテーマに、人間の内側で揺らぎ続ける感情や感覚の変化を、光・色彩・反射・構造によって表現する作品シリーズ。

これまでアートは、主に描き手の感情を表現してきた。

IRONOMIは、鑑賞者の内側に生まれる感情や感覚の変化に着目する。

内側に残る感情の痕跡。

見えない記憶の輪郭。

時間の中で育ち、実りとなった感情のかたち。

KEN IKEDAは、その痕跡を「色彩の実(いろのみ)」と捉えている。

IRONOMIは、単なるアートプロジェクトにとどまらない。

感情を、社会や文化を支える基盤として捉え直す『Human Emotion Infrastructure (感情基盤構想)』へと深化している。

近年はAI、宇宙開発、ウェルビーイングへと関心を広げる。

技術が進化し、宇宙時代が現実となる今だからこそ、人間の感情、記憶、感覚、直感の重要性を見つめ直す。

作品を残すこと。

概念を残すこと。

その両方を通して、KEN IKEDAは人間の存在と、時間の中に残る感情の痕跡を探求し続けている。

Contact

AIR PLANT Co.,Ltd.
Email:airplant.co.ltd@gmail.com
Website:https://wkw-airplant.com
Instagram:@wkw_airplant
Lit.Link:https://lit.link/icbajapanproject